

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月20日	
富山市長 藤井 裕久 様	
提出者	
住 所 富山県富山市緑町1丁目1番10号	
氏 名 近 藤 建 設 株 式 会 社	
代表取締役社長 近藤 裕世	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 076-491-3021	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	近藤建設株式会社
事業場の所在地	富山県富山市緑町1丁目1番10号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	資本金：8000万円、売上高：54億
③従業員数	43名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 施工材料の適正数量の搬入 ・ 梱包材や材料の残材は、施工業者にて引き上げさせ、現場での排出量を抑えている。 また、金属専用のダストボックスを設置するようにしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も継続していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 作業所内での分別を推進し、混合廃棄物となる割合の低減。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 作業所内での分別を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 建設廃棄物処理委託契約書に関しては、富山県内の主要な運搬処理業者 とは年間委託契約を取り交わしており、その他の業者とも現場ごとに契 約書の取り交わしをしている。 また、平成27年度より電子マニフェストを採用しており、ほとんどの 現場で確実にマニフェスト交付を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) これまで同様 継続して実施していく。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

- ・混合ゴミ → 分別・破碎 →

がれき	→	埋立
木くず	→	木チップに再生
紙くず	→	再生紙

- ・アスファルト片
→ 破碎 → 骨材として再生
- ・コンクリート片

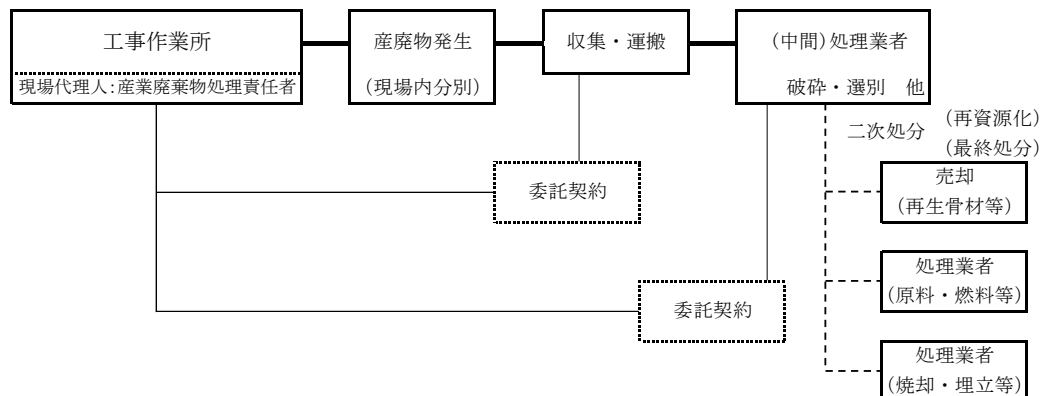
- ・廃プラスチック（硬質のもの）→ 破碎 → 再生利用

- ・石膏ボード → 破碎 → 埋立 60% : 再生 40%

- ・金属 → 建設原材料に再生

別添 2 管理体制図

自ら産業廃棄物を処理できないので、収集運搬業者および中間処理・最終処分業者に産業廃棄物処理を委託している。



産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和5年度)実績量
計画:今年度(令和6年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排 出 量				自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量				全 処 理 委 託 量		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		再生利用業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
廃プラスチック類	4.0	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	3.6		0.0	4.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	12.0	10.8	—	—	—	—	—	—	—	—	12.0	10.8		0.0	12.0	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0
金属くず	66.0	59.4	—	—	—	—	—	—	—	—	66.0	59.4	61.0	54.9	66.0	59.4	0.0	0.0	0.0	0.0
がれき類	2,224.0	2,001.6	—	—	—	—	—	—	—	—	2,224.0	2,001.6		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃石膏ボード	22.0	19.8	—	—	—	—	—	—	—	—	22.0	19.8		0.0	22.0	19.8	0.0	0.0	0.0	0.0
コンクリート片	204.0	183.6	—	—	—	—	—	—	—	—	204.0	183.6		0.0	204.0	183.6	0.0	0.0	0.0	0.0
アス・コン片	179.0	161.1	—	—	—	—	—	—	—	—	179.0	161.1		0.0	179.0	161.1	0.0	0.0	0.0	0.0
安定型建設混合廃棄物	24.0	21.6	—	—	—	—	—	—	—	—	24.0	21.6	8.0	7.2	24.0	21.6	0.0	0.0	0.0	0.0
管理型建設混合廃棄物	94.0	84.6	—	—	—	—	—	—	—	—	94.0	84.6	17.0	15.3	94.0	84.6	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,829.0	2,546.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,829.0	2,546.1	86.0	77.4	605.0	544.5	0.0	0.0	0.0	0.0